



ジャンヌ・モロー主演

デュラス

Cet Amour-là

愛の最終章

運命の時を待ちながら、
ふたりは出会い、愛し、語らった。
そして「愛人／ラマン」がうまれた。

「愛人／ラマン」の作家マルグリット・デュラスが、
38歳年下の最後の愛人ジャン・アンドレアと過ごした16年間の愛の軌跡

2001年ヴェネチア映画祭クロージング作品

出演:エーメリック・ドゥマリニー 原作:ジャン・アンドレア「デュラス、あなたは僕を本当に愛していたのですか」(河出書房新社) 監督・脚本:ジョゼ・ダヤン 台詞協力:ジャン・アンドレア、マレン・セル、ジル・トラン
音楽:アンジェロ・ハタラメンティ 撮影:カローヌ・シャンブティエ 美術:シルヴィ・ワネック 衣装:ミミ・レンゼガ 録音:ミシェル・カラ 編集:アンス・ボワッセル 音響:ムラッド・ルアンシ
音響ミキサー:ジャン＝ポール・ルビリエ プロダクション:マネージャー・ジャン＝ポール・バツタジヤ 製作総指揮:クリスティーン・ゴズラン プロデューサー:アラン・サルド 共同製作:ル・フィルムズ・アラン・サルド、アルテ・フランス・シネマ
共同提供:カナル・フランス、ソフィカ・スタジオ・イマージュ 2001年/フランス映画/1時間40分 ©Les Films Alain Sarde - Arte France Cinema 後援:フランス大使館 配給:コムストック www.comstock.co.jp

愛の作家マルグリット・デュラスと38歳年下の愛人。ふたりが過ごしたスキャンダラスな16年間の愛の日々が、ついに映画化。

マルグリット・デュラス。

彼女は、映画『ラマン／愛人』の原作者としてフランスが世界に誇る20世紀最高の女性作家であり、自作の映画化作品『インディア・ソング』など優れた映画監督/脚本家としても知られている。

愛の世界を描き、人間の情念や心の深淵を執拗に追い続けたデュラス。

その彼女自身、実は最晩年に希有な愛の物語を成就させていた。

彼女は最後の16年間、38歳年下の愛人ヤン・アンドレアとひそかに最高の愛を育んでいた。

「私が亡くなったら、私たちの愛を書きなさい」。デュラス臨終の時にそう言われたヤンが、

彼女の死後3年の歳月を経て、「デュラス、あなたは僕を(本当に)愛していたのですか。」(河出書房新社)を著し、

彼女とのスキャンダラスな愛の顛末を初めてあきらかにした。それを映画化したのが、

本作品『デュラス 愛の最終章』である。



「これは愛の物語ではない。愛そのもののな。」

デュラス

1975年、大学生だったヤンは、小説「タルキニアの小馬」を読んで以来、デュラス作品の虜になり、毎日手紙を書き続けた。5年後、手紙を書くのをやめると、デュラスから「会いに来るように」との手紙が来る。トゥルーヴィルの彼女の部屋を訪ねたその日から、デュラスとヤンの愛の日が始まった。デュラスはヤンが誰かと会うことも、電話することさえも禁じ、ただひたすら彼を独占しようとした。ヤンは、作家デュラスの口述筆記者であり、病人デュラスの看護人でもあった。最後の愛人と過ごした16年間、デュラスはまさに年齢からも解放され、若いヤンと少女のように戯れ、感情のおもむくままに、海へとドライブし、音楽を聴き、ダンスを踊り、ワインを飲み、食事を楽しみ、そして書きつづけた。その結晶として生まれた記念すべき作品こそが、大ベストセラー小説『愛人』であった。

ジャンヌ・モローとマルグリット・デュラスの華麗な競演

世界を代表する大女優ジャンヌ・モロー。ヌーヴェル・ヴァーグの女神として世界中の映画ファンを魅了し続け、アカデミー賞特別栄誉賞を受賞した彼女は、デュラスとは、彼女原作の映画に多く出演しただけでなく、プライベートでも親しい友人であった。ヤンの著書出版前に読み、すっかり夢中になったモローは、厚い信頼を寄せている女性監督ジョゼ・ダヤンに本を送って、半年後には映画化を実現させた。愛に生き、自由に正直に生きるモローとデュラス。女のエゴと、少女のような純粋さを合わせ持つデュラスを「デュラスを演ずる運命にあった」を思わせるほど完璧に演じたモローは、デュラスと驚くほど瓜二つの容姿も重なって、2001年のヴェネチア映画祭で大絶賛された。M.デュラス+J.モロー+監督J.ダヤン、女性3人の見事なコラボレーションが仏映画に新たな愛の秀作を誕生させた。

仏を代表する女性監督ジョゼ・ダヤンと世界を代表するスタッフたち

監督は、近年、「レ・ミゼラブル」「危険な関係」など仏TVの大河ドラマにジュラルド・バルデュー、カトリーヌ・ドヌーフ、ルパート・エベレット、ジャンヌ・モローなど映画界の大スターを起用して話題になった仏テレビ界きっての女性敏腕監督ジョゼ・ダヤン。女性ならではの視点で、年老いたデュラスの初々しさまでも情感たっぷり描く。デュラスの愛人ヤン・アンドレア役には、新人エメリック・ドゥマリニーが大抜擢。「ボネット」「ドライ・クリーニング」の女性撮影監督カロリーヌ・シャンプティエが、デュラスが過ごしたトゥルーヴィルの海岸や別荘地の新緑を美しく鮮やかに映し出す。音楽は、デイヴィッド・リンチ監督作品にはかかせない作曲家アンジェロ・パダラメンティ。デュラスの愛したジャンソン「バラ色の人生」「カプリ・セ・フィニ」などがこの2人の愛を盛り上げ、多様な色づけをしている。



デュラス 愛の最終章

出演:ジャンヌ・モロー、エメリック・ドゥマリニー 監督・脚本:ジョゼ・ダヤン 原作:ヤン・アンドレア「デュラス、あなたは僕を(本当に)愛していたのですか。」(河出書房新社)
プロデューサー:アラン・サルド 製作総指揮:クリスティエス・ゴズラン 台詞協力:ヤン・アンドレア、マレン・セル、ジル・トラン 撮影:カロリーヌ・シャンプティエ 音楽:アンジェロ・パダラメンティ
2001年ヴェネチア映画祭クロージング作品 2001年フランス映画/1時間40分 CET AMOUR LA
後援:フランス大使館 配給:コムストック www.comstock.co.jp ©2001 Les Films Alain Sarde Arte France Cinema

12/14(土)より順次全国ロードショー!!

東京	Bunkamura ル・シネマ 03(3477)9264	札幌	三越名画劇場 011(221)3393	仙台	MOVIX 仙台 022(304)3700	名古屋	ヘラルドシネプラザ 052(241)0936		
大阪	シネ・リーブル梅田 06(6440)5930	京都	京都朝日シネマ 075(255)6760	神戸	シネ・リーブル神戸 078(334)2126	広島	サロンシネマ 082(241)1781	福岡	シネ・リーブル博多駅 092(434)3691

※一部劇場が変更になる場合がございます。上映時期・時間等に関しては各劇場までお問い合わせ下さい。

●「マルグリット・デュラス」愛のブック・フェア 公開に合わせて全国主要書店にて開催!

●デュラスとヤンが初めて出遇ったトゥルーヴィル&パリの旅 来年2月に開催! お問い合わせ:東急観光 上野支店 Tel:03-3833-1090